

# The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine

第62巻 第2号 2025年2月

## CONTENTS

巻頭言

- 98 「それでも地球は動く (E pur si muove)」 西村行秀

特集

## 99 伝統ある物理療法・物理刺激の最新のエビデンス

- 1 | リハビリテーション医療と温泉療法 up to date 松元秀次 100  
2 | 温度感受性 TRP チャンネルを介した腎臓リハビリテーションの可能性 岩下佳弘, 他 107  
3 | 外気温変化に対する体温調節機構と局所冷却・温熱刺激の効果 上條義一郎, 他 113  
4 | 振動刺激のリハビリテーション治療への臨床応用 河村健太郎 122  
5 | 痙縮に対する体外衝撃波治療 岡本隆嗣, 他 131  
6 | 嚥下障害に対する神経筋電気刺激療法 外山慶一 139  
7 | 感覚障害に対する経皮的電気神経刺激の効果 西 祐樹 146  
8 | リハビリテーション医療における鍼灸治療の役割 粕谷大智 153

■教育講座

- 161 F 波分析で考える脳卒中患者の運動機能評価 鈴木俊明  
168 非侵襲的脳刺激法の在宅リハビリテーション医療への応用  
—経頭蓋静磁場刺激と経皮的迷走神経刺激— 桐本 光  
176 運動機能回復メカニズムの解明を目指して  
—脳損傷サルモデルを用いた実験的研究— 村田 弓, 他  
—原著—  
182 脊椎圧迫骨折に対するリハビリテーション治療提供量が機能予後に与える影響  
鈴木良枝, 他  
—原著—  
189 高齢・重症くも膜下出血患者に対する早期離床が歩行再獲得に与える影響  
—多施設後方視研究— 鈴木翔太, 他  
JARM NEWS Topics  
201 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会レポート 広報委員会  
JARM NEWS 委員会紹介  
206 将来構想委員会 佐浦隆一  
社会保険委員会 緒方直史  
JARM NEWS REPORT  
207 第40回日本義肢装具学会学術大会 越智光宏  
日本転倒予防学会第11回学術集会 鶴川俊洋  
208 次号予告

国内誌編集委員会 担当理事・委員長 下堂 蘭 恵 副委員長 和田 直樹 松瀬 博夫  
委員 青柳 陽一郎 伊藤 修 井口 はるひ 川上 途行 重松 英樹 新見 昌央 橋本 圭司  
林 哲生 原 貴敏 補永 薫 山内 克哉